



# Atsuko Kudo Mail Magazine 234

2018.07.03

●引越し

●十字架の身代わりのみわざ

ハレルヤ！

力の主をほめたたえます。

皆さま、お元気でいらっしゃいますか？

5月16日の帰国後、5月25日に大阪市中央区から堺市に引越しました。6月上旬には予定より3週間も早くドイツからの荷物が届き、必要な家具もだいたい整い、やっと落ち着いてきたところです。

これまで、主は、その時々に住む場所を備えてくださいましたが、その中でも、ここは特別な恵みの場所であると思っています。近くには古墳や公園があり、静かな住宅街で空気もきれいです。また、こちらの家では歌の練習をすることができるので大助かりです。親切な大家さんご夫妻にいつも助けていただきながら、ここから日本での新たな生活をスタートできることを、主に心から感謝しています。(写真：近くの「けやき通り」。日本の方が樹は低いですが、ハンブルクの「緑のトンネル」を思い出します。)



さて、6月18日に起きた大阪北部地震では、多くの方々からご心配のメールや電話をいただきました。お礼を申し上げます。大阪南部の堺市は大丈夫でしたが、震度4と大きく揺れました。北部では9歳の女儿がブロック塀の下敷きになり死亡するという心痛む事故が起きたほか、ライフラインや交通網が大混乱し、今も180人が避難生活を送っています。一日も早い完全な復興を祈ります。

## ●十字架の身代わりのみわざ

6月17日、北浜チャーチで「十字架の身代わりのみわざ」というテーマで奨励の奉仕をさせていただきました。数年前にドイツで受けた学びからの引用ですが、この学びを受けて以来、私にとって生き方の軸になってきたテーマです。また、2年前のニュースレターの巻頭言でも2回に亘ってお分かちさせていただきました。

イエスが十字架で成就してくださった身代わりのみわざを列記します。

1. 私が赦されるために、イエスが罰せられたこと
2. 私が癒されるために、イエスが傷を受けられたこと
3. 私が義とされるために、イエスが罪となられたこと
4. 私にいのちを与えるために、イエスが死なれたこと
5. 私が富む者となるために、イエスが貧しくなられたこと
6. 私が祝福を受けるために、イエスがのろいとなられたこと



## 7. 私が栄光を受けるために、イエスが恥を受けられたこと

## 8. 私が神に受け入れられるために、イエスが神から拒絶されたこと

今回の奨励の準備をしながら、特に8番目の項目で心が突き刺されました。イエスは私の肉体を癒すために、残忍な鞭打ちの刑（ローマ兵の鞭には、鉛や骨がついていた）で極限の痛みを受けられました。極限の痛みを受けられたからこそ、みこころであれば、どのような病も癒すことがお出来になります。そのように、私が神に受け入れられるために、イエスは神から拒絶され、その極限の心の痛みによって、どんなに神から遠く離れた人でさえも、神に受け入れられるようにしてくださいました。十字架のイエスの脇腹を兵士が突き刺したとき、血と水が吹き出たのは、イエスが御父から拒絶され、あまりの悲しみで心臓が破裂したからなのだと、私は思っています。

**キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に完成されたのです。（ヘブル 10:14）**

イエスの十字架の身代わりのみわざによって、私たちにすべての祝福がもたらされました。言い換えれば、十字架以外に私たちに必要なものはないということです。この十字架をしっかりと見つめながら、神の、こんなにも深い愛に触れさせていただきつつ、日本での活動をスタートさせたいと思っています。



## ●お祈りください

やっと落ち着いて聖書を読み祈る十分な時間を取れるようになりました。私とAKWMの生き方、奉仕が、みことばの土台の上に建て上げられるものでなければと改めて思われています。主に仕えて行くために、十分な霊の満たしを受けることができますようお祈りください。



7月10日～9月初旬、札幌に滞在します。91歳になった父の手助けと、これからは、私が、少しずつ、知的障害者の妹が所属する施設とのコンタクト作りを担って行きたいと思っています。また、主が父の心を開いてくださり、ご自身を啓示してくださるようお祈りください。

（写真：ドイツの友人ご夫妻が帰国の際にプレゼントしてくださったハンブルク港の絵。港のドックには「Jeder Mensch braucht seinen Hafen」＝「人はそれぞれ自分の港が必要である。」と書かれています。私たち信仰者の港はイエスさまです。）

私たちの主イエス・キリストの恵みが、皆さまと共にありますように！

Atsuko Kudo